



第124回日本皮膚科学会総会

ランチョンセミナー26

美容皮膚科治療の基礎

～色と形からの新たなアプローチ～

2025



5月31日 [土] 11:20～12:20

会場



第10会場 (パシフィコ横浜 3F)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

座長



順天堂大学医学部附属浦安病院 皮膚科学 教授

須賀 康 先生



Session

1

木村 有太子

先生

順天堂大学医学部 皮膚科講座/
ドクターSPA・クリニック

『色素性疾患治療に対する
Qスイッチレーザーの再発見』



Session

2

野田 真史

先生

池袋駅前のだ皮膚科 院長

加藤 真梨子

先生

池袋駅前のだ皮膚科 副院長

『次世代高周波機器を用いた
光老化治療の実践と新たな可能性について』



*本講演には薬事未承認の内容を含みます。

Session 1

『色素性疾患治療に対する Qスイッチレーザーの再発見』

近年、ピコ秒レーザーが色素性疾患の治療において注目を集める一方で、QスイッチNd:YAGレーザーも依然として有用な治療の選択肢の一つである。本講演では、Gaussian (G)・Top Hat (TH)・Gen (GN)の3つのモードを搭載した「TRI-BEAM PREMIUM」(Jeisys Medical Japan社)を用いた、老人性色素斑、雀卵斑、後天性真皮メラノサイトーシスなどに対する適切な施術方法を解説する。また、それぞれの疾患に応じたパラメータ設定についても、具体的に症例を交えながら紹介する。Qスイッチレーザーならではの特長を再認識し、その有用性と活用の幅を再評価する機会となれば幸いである。

木村 有太子 先生 順天堂大学医学部 皮膚科講座 / ドクターSPA・クリニック

[Profile]	2012年	医学博士, 順天堂大学浦安病院皮膚科, 助教
2003年 獨協医科大学医学部卒業	2013年	順天堂大学浦安病院皮膚科, 准教授
2003年 順天堂大学医学部附属順天堂医院 研修医	2016年	ドイツ ミュンスター大学病院皮膚科 留学
2006年 順天堂大学浦安病院皮膚科, 専攻生	2016年	順天堂大学浦安病院皮膚科, 准教授
2007年 順天堂大学浦安病院皮膚科, 助手	2021年	順天堂大学医学部 皮膚科学講座 非常勤講師～現在に至る

Session 2

『次世代高周波機器を用いた 光老化治療の実践と新たな可能性について』

本講演では当院で採用している、6.78MHzの周波数を用いた高周波機器の特徴と臨床効果について共有する。期待する効果は大きく二つあり、真皮や皮下の線維組織加熱によるタイトニング効果に加え、創傷治癒機転を生じさせることによる組織の再構築である。高周波機器は、モノポーラ型もしくは、バイポーラ型が代表的であるが、近年ではそれら二つを同時に照射できる機器が登場してきた。それにより、真皮から皮下組織にかけた効率的な熱影響を実現し、患者の光老化状態に応じた治療を提供できることを期待されている。年齢に応じた症状別の適応と施術のポイントについて、症例とエコーでの解析結果を交えながら解説する。

野田 真史 先生 池袋駅前のだ皮膚科 院長

[Profile]	2014年	東京大学大学院医学系研究科卒業、医学博士 米国ロックフェラー大学 Instructor in Clinical Investigation兼Associate Attending Physician ニューヨーク州医師免許Master in translational science(MSc)
2007年 東京大学医学部医学科卒業	2016年	東京大学医学部附属病院 皮膚科 助教
2009年 東京大学医学部附属病院初期研修修了	2018年	池袋駅前のだ皮膚科 院長
2009年 東京大学皮膚科に入局し、東京大学医学部附属病院、関東労災病院で皮膚科医として勤務		

加藤 真梨子 先生 池袋駅前のだ皮膚科 副院長

[Profile]	2019年	池袋駅前のだ皮膚科 勤務
2009年 東京医科歯科大学卒業	2023年	池袋駅前のだ皮膚科 副院長
2011年 日本赤十字社医療センター初期研修修了		
2011年 東京大学皮膚科に入局し、東京大学医学部附属病院、東京逓信病院、国際医療福祉大学三田病院で皮膚科医として勤務		